

弘経寺だより

発行所

寿亀山弘経寺

〒303-0041

常総市豊岡町甲1

TEL0297-24-0895

一年を振り返って

弘経寺主管 金田大祐

今から十一ヶ月余りに平成十八年が明けて、ふと気がついてみたら年の瀬です。なぜ、こんなにも時の過ぎ行くのは早いのでしょうか。

今年には当山弘経寺にとりましては記念すべき年でした。なぜなら、四百年の間、優秀な僧侶を育て、また、お檀家さんの拠り所となってきた本堂がその歴史の幕を下ろした年だったからです。

今年の前半には本堂改修のための勧進が始まり、「はなまつり」が開催され、一万人もの参拝者が本堂との別れを惜しみました。後半になりますと起工式・地鎮式が奉修され、工事が本格的に始まりました。

お檀家の皆様の弘経寺に対する慈しみの心と深いお心遣いによりまして、改修工事が早期に実現し、現在も順調に工事が進みますこと、

有り難く、嬉しく思っております。

私は一年がとてもはやく過ぎ行くのを否定的にとらえるときがあります。なぜなら、時が過ぎ行くのが早いと感じることはそれだけ死が早く来ってしまうと感じてしまうからです。しかし、「人生の質」という側面から観てみますと、「時が過ぎ行くのが早い」ということはそれだけ「人生が充実している」ということだとも思えます。

誰にも平等に与えられている命という時間。日本人の平均寿命が八十才ぐらいだと考えれば三十半ばの私にとりましては、まだまだ生きられるとも考えられますが、それと同時に、誰も私の明日の命を保障してはくれないという事実も受け止めなければなりません。誰もが「寿命とは関係なしに明日死ぬかもしれない今」という時間を生きているのであれば、与えられている時間、すなわち命はやはり平等なのだと思えます。

ですから、時が過ぎ行くのが早いと感じるのも悪いことではないと思

ます。今を生きているという充実感を心から感じられれば、人生は長さではなく、質であるという真理に気づくことができるでしょうか…。

今年、十二月三十一日には午後十一

時より浄焚式と修正会が当山弘経寺にて営まれます。今年お浄土に旅立たれた方々、そして、弘経寺本堂の在りし日の姿を偲び、感謝の気持ちを捧げると共に、来る年平成十九年が希望に満ちた素晴らしい年になることを共に願い、阿弥陀様にその願いを捧げる法会が浄焚式と修正会です。是非ご参拝下さいませお願い申し上げます。

浄焚式

日時 平成十八年十二月三十一日(日)

午後十一時

場所 飯沼弘経寺 境内

TEL〇二九七(二四)〇八九五

浄焚式では、古損した仏像、経巻、位牌、御札等をお浄めして、お焚き上げいたします。お焚き上げしてほしいものがございましたら、当日の午後十時半に弘経寺へ持ってきてください。

修正会

修正会を左記の通り、大晦日と元旦に営みます。是非、ご参拝ください。

● 平成十八年十二月三十一日(日)

午後十一時五〇分

● 平成十九年一月一日(月)

午前十一時

大掃除

十二月二十三日(土)午前九時より、

大掃除を行います。窓拭き、庭掃き、すす払い等、お寺をきれいにして新年を迎えるという大事な行事です。大掃除が終わりましたら、軽食のご接待がござります。奮ってご参加くださいませよう、お願い申し上げます。

檀信徒大会

十一月二十日茨城教区教化団主催の檀信徒大会がつくば市のホテル東雲にて開催されました。茨城県内の浄土宗寺院のご住職や檀信徒の方々が、大勢参加し、盛大な法会となりました。当山からは総代の本田弘さん、小島義則さん、筆頭世話人の古谷三郎さんの三人が代表として出席しました。

開白法要に続いて茨城県内の僧侶による雅楽演奏、吉水成正上人による

2006年12月 「晩年の法然上人」についての講演、茨城教区寺庭婦人会による詠唱が催され、二百人もの参加者全員が熱心に聴き入っていました。

経蔵落慶式

十一月十八日(土)午前十時、弘経寺経蔵落慶式が経蔵前にて厳修されました。大本山増上寺からは弘経寺住職でもあられます江口執事長をはじめ、弘経寺責任役員の前田執事、蓮池執事、施設管理課の前田執事他、増上寺法要課、施設管理課の諸上人に御来山いただき、落慶式をお勤めいただきました。当日は天候にも恵まれ、江口住職のお導師のもと、弘経寺前主管の岡部上人、法性寺の飯沼嶺静上人にご臨席を賜り、各地区の世話人が弘経寺を代表して参列し、落慶のお祝いをしました。

経蔵改修工事決算

十一月十八日に開催されました経蔵の落慶式をもちまして、大本山増上寺別院弘経寺の経蔵改修事業が無事完了いたしました。御浄財をご寄進くださいましたお檀家の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

第14号

大本山増上寺別院弘経寺経蔵改修工事決算書

収入の部		支出の部	
弘経寺会計	24,732,969	仮設・解体・木工事	15,750,000
起工式本尊前	84,000	屋根工事	2,100,000
補助金(水海道市より)	1,400,000	瓦工事	1,155,000
寄付金	5,843,000	左官工事	5,250,000
瓦・銅版奉納料	782,000	八角輪蔵補修工事	5,250,000
合計	32,841,969	諸経費	120,207
		設計・管理費	3,150,000
		法要費	66,762
		合計	32,841,969

決算に際しましては、経蔵改修工事の監査役員、増上寺別院弘経寺住職、増上寺財務部長より決算書の承認をいただきました。ここに報告申し上げます。

本堂改修工事ニュース

地鎮式

十一月十八日(土)午前十一時、弘経寺本堂地鎮式が厳修されました。大本山増上寺からは弘経寺住職でもあられます江口執事長をはじめ、弘経寺責任役員の前田執事、蓮池執事、施設管理課の前田執事他、増上寺法要課、施設管理課の諸上人に御来山いただき、地鎮式をお勤めいただきました。

江口住職のお導師のもと、社寺建築研究所代表取締役 東進様、同設計長 武田正志様、金剛組東京支店長大久保克朗様、同工事部長 植田菊一様、同営業次長 菅田良英様、同所長 目黒彰様、同係員 斉藤誠様のご臨席を賜り、地鎮式は無事円成いたしました。

午後二時からは、江口住職お導師のもと、水海道部内の御寺院方の御随喜を賜り、十夜法要が営まれ、各お檀家の先祖代々諸精霊の十夜回向をいたしました。

地鎮式、十夜法要にご出席くださいました世話人の皆様、本堂にご苦勞様でした。午前から午後にかけての長丁場ではございましたが、お手伝いいた

いただきましたおかげで、地鎮式、十夜法要は盛会裏に幕を閉じました。心より御礼申し上げます。



地鎮式

御浄財勸募のご報告

十一月までに
三八、四九六、二四七円
の本堂改修工事のためのご浄財が集まりました。ご協力ありがとうございます。引き続きご支援のほど、お願い申し上げます。

お悔やみ

阿弥陀様の慈光の中、次の方々が無事往生されました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

十一月二十八日 飯田美代子殿 五〇歳